

 秋田銀行

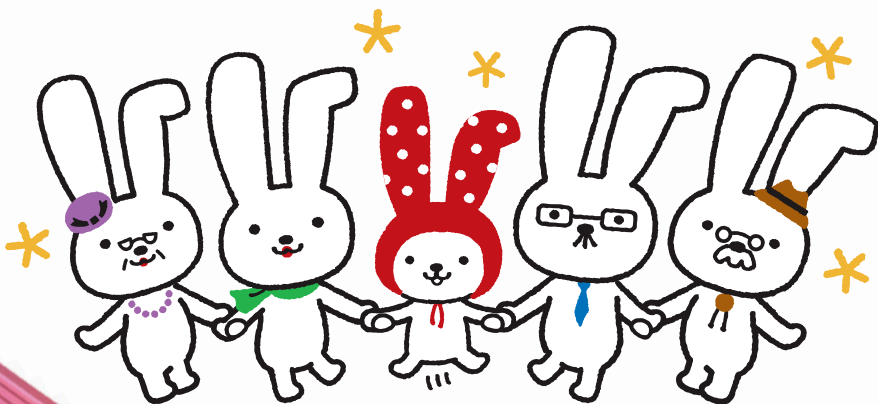
AKITA BANK

# REPORT 2023

秋田銀行ミニディスクロージャー誌

2023年9月期 | 営業のご報告

2023年4月1日から2023年9月30日まで





経営理念

# 地域共栄

地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える

行訓

1. 自らにきびしく 他には思いやりの深い  
すぐれた人間をつくること
2. 内に和を守り 外に信用を固めて  
明るく健全な職場をつくること
3. 常に将来のことを考え  
絶えず現状の改善を図って  
ともに繁栄する地域社会をつくること

(1969年制定)

<あきぎん>の概要

(2023年9月30日現在)

名称	株式会社 秋田銀行 The Akita Bank, Ltd.
本店所在地	秋田県秋田市山王三丁目2番1号
創業	明治12年(1879年)1月
預金・譲渡性預金	3兆1,799億円
貸出金	1兆9,505億円
資本金	141億円
発行済株式数	18,093千株
自己資本比率	11.32%(国内基準)
長期格付	A+(JCR)
従業員数	1,262名
店舗数	本支店・出張所98か店
現金自動設備 (CD・ATM)	230か所 (店舗内80、店舗外出張所150)
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード8343)

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当行に対するご理解を一層深めていただくため、「ミニディスクロージャー誌 AKITA BANK REPORT」を作成いたしました。本誌では、2023年9月期の業績、当行の経営方針、地域やお客さま向けの取組みなどについてご紹介しております。ご高覧のうえ、ご参考にいただければ幸いです。

当行では、2030年を展望する「秋田銀行グループVISION『価値をつくる。未来へつなぐ。』」を掲げ、2022年度から第1フェーズとなる3年間の中期経営計画に取り組んでおります。この計画では、金融仲介とコンサルティング活動による既存事業の深掘りを進め、経営基盤を強化するとともに、地域やお客さまが抱える課題を解決することを事業として取り組み、地域とお客さまの新たな価値創出に向けてさまざまな施策を推進しております。

計画2年目となる2023年度は、地域経済の活力向上、将来の地域経済を担う事業の創出に向け起業・創業支援への取組みを一段と強化しております。具体的には、当行が100%出資する投資専門子会社「株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ」を設立し、総額10億円の「あきぎんNEXTファンド」を組成いたしました。ベンチャー企業や事業承継に取り組む企業への柔軟な資金供給や経営支援を通じて、さらなるコンサルティング機能を発揮し、地域社会の持続的成長に貢献してまいりたいと考えております。

また、地域企業の人材に関する課題に幅広く対応する取組みも進めております。従来から取り組む採用支援に加えて、人材育成支援事業を開始いたしました。事業者の皆さまの実情や目指す姿にあわせた社員研修を提供することで、人材の成長を後押しし、県内企業の競争力向上につなげてまいります。

引き続き、中期経営計画の諸施策の実行を通じて地域の課題解決に取り組むとともに、当行グループの企業価値の向上をはかってまいります。皆さまには、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



取締役頭取

新谷 明弘

Contents	<あきぎん>の概要	01	基盤強化戦略	05	財務ハイライト	09-12
	トップメッセージ	02	地域価値共創戦略	06	株式インフォメーション	13
	秋田銀行グループVISION の目指す姿	03-04	組織・人財戦略	07	店舗ネットワーク	14
			サステナビリティへの取組み	08		

2030年を展望する秋田銀行グループVISION『価値をつくる。未来へつなぐ。』を定め、この目指す姿を実現する第1フェーズとして、2022年度から3年間を計画期間とする中期経営計画を策定しています。

## 秋田銀行グループVISION

### 中長期的に目指す姿

地域経済の質を高めるとともに、  
住みよい地域社会を創造し、  
成長し続ける銀行

### 2030年を展望する新たなグループVISION

## 価値をつくる。未来へつなぐ。

地域の課題を解決し、お客さまのニーズに応える  
質の高い金融・非金融サービスの提供を通じて、  
将来にわたる豊かな地域の実現にチャレンジし続けます

## 中期経営計画

**価値共創**  
2019～2021年度

- 地域経済の成長、地域課題の解決
- 地域および当行の持続可能性の向上

↓

地域、お客さまの課題解決を  
コアコンピタンスに

**中期経営計画**  
第1フェーズ 2022～2024年度

秋田銀行グループVISIONの実現に向けた基盤と機能を強化する3年間

**基本戦略**

- 既存事業の徹底した深掘りによる経営基盤の強化（本業利益の改善）
- 地域価値共創事業の拡大による地域の成長促進機能の構築（新たな収益基盤の確立）

↓

持続可能なビジネスモデルを確立

2030

秋田銀行グループVISION  
に向けフェーズチェンジ

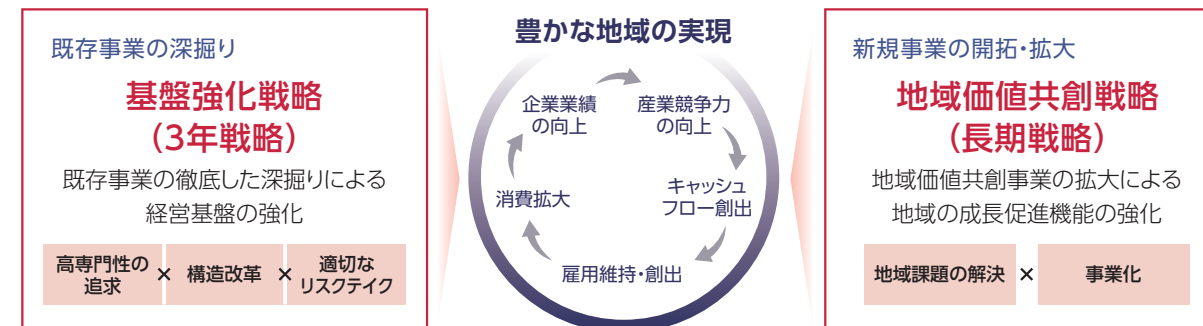
新たな成長戦略/  
ビジネスモデルの進化

2021

2024

## 第1フェーズ中期経営計画(2022～2024年度)

### ■基本戦略



戦略を支える推進力

人財価値の向上による事業戦略を力強く推進する組織の構築

**組織・人財戦略 (長期戦略)**

人財価値の最大化 × 成長・活躍のフィールド × 働きがい・エンゲージメント向上

### ■計画最終年度(2024年度)に目標とする経営指標

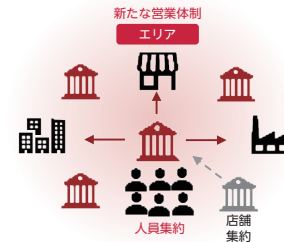
当期純利益	○H R (コア業務粗利益ベース)	自己資本比率
50億円以上	70.0%未満	10.0%以上



## 法人のお客さまへの取組み

### ■お客さまの課題解決に向けた営業体制の改革

2023年7月より、地区の旗艦店舗へ「法人営業課」を設置し、法人担当者を集約する営業体制を開始しました。効率化による営業活動量の増加をはかるとともに、お客さま情報と担当者のノウハウを集約することで、コンサルティング提案のさらなる高度化をはかってまいります。



### ■ウォーターセル株式会社との業務提携

～営農支援ツール「アグリノート」の取扱開始～

2023年8月、ウォーターセル株式会社と業務提携し、営農支援ツール「アグリノート」の取扱いを開始しました。本サービスの提供を通じて、営農記録のデジタル化とその活用によるデータ駆動型農業への転換を促進し、農業者の皆さまの経営効率化や新たな収益機会の創出に取り組んでまいります。



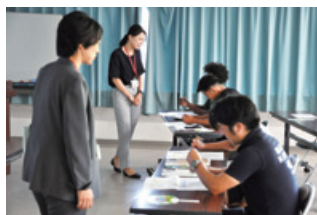
#### 「アグリノート」主なサービス内容

- 航空写真を使った圃場マップを作成し農作業内容を記録。パソコンやスマートフォン等で共有が可能
- 収穫可能日の表示や農業の成分別使用回数の自動集計も可能

## 個人のお客さまへの取組み

### ■人生100年時代を見据えた資産づくりのご支援

2024年から始まる「新NISA制度」を中心としたお客さまの資産づくりをサポートするため、資産形成や運用に関するセミナーを開催しています。2023年8月には、プロサッカークラブチームを運営する株式会社ブラウブリッツ秋田の所属選手やトップチームスタッフを対象としたマネー講座を実施しました。



ブラウブリッツ秋田でのマネー講座の様相

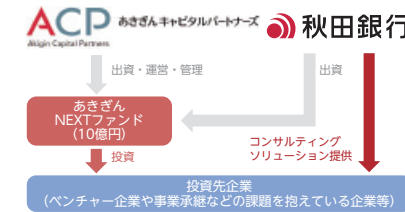
### ■非対面チャネルの拡充

2023年6月、当行を「いつでも・どこでも・便利に」ご利用いただけるよう、「あきぎんアプリ」を全面リニューアルしました。振替・振込による資金移動や投資信託の購入などを行える機能を新たに追加したほか、残高照会などの既存機能を拡充し、利便性の向上をはかりました。



## 投資専門子会社の設立

2023年7月、当行が100%出資する投資専門子会社「株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ」を設立し、同年8月、総額10億円の「あきぎんNEXT投資事業有限責任組合（通称：あきぎんNEXTファンド）」を組成しました。同年9月には、本ファンドを通じて、女性の健康状態や疾病の可能性を生理用品に内蔵したフェミニンテスターで確認できる検査キットの開発・製造を行うCranebio株式会社に投資実行しました。今後も社会課題の解決のため新たなビジネスに挑戦する企業を積極的にサポートし、地域社会の持続的な成長に取り組んでまいります。



## 人材総合支援

当行は2019年11月に人材紹介事業に参入し、企業の人材に関する課題に幅広く対応する取組みを進めています。その一環として、地域における人材育成をサポートすべく、企業向け社員研修を実施しています。講師は当行の業務と全日本空輸株式会社の客室乗務員を両立する兼業人材が務め、2023年9月末時点で、県内企業41社・延べ395名に研修を提供しています。



ANA兼業人材が講師を務める企業向け社員研修

## 秋田県産品の流通拡大支援

地域商社「詩の国秋田株式会社」では、首都圏、アジアを中心とした海外における秋田フェアの開催や海外との貿易取引の拡大など、秋田県産品の域外への販路拡大、継続的な商流の構築に取り組んでいます。2023年9月には、秋田県由利本荘市およびにかほ市で栽培された「シャインマスカット」を台湾に初めて輸出し、台北市内の百貨店で販売を開始しました。



台湾の百貨店で販売されている県産シャインマスカット

## お客さまのデジタル化・DX支援

当行では、データやデジタル技術を活用し、地域やお客さまへ新たな体験やサービスを提供していくことを目指しています。2023年6月には、事業者向けの業務のデジタル化・DX支援として、株式会社マネーフォワードが提供する業務DXサービス「Mikatano インボイス管理」および「Mikatano ワークス」の取扱いを開始し、インボイス制度や電子帳簿保存法へ対応するサービスを提供しています。



人材の専門性向上、活躍に向けた取組み

■企業内大学「あきぎん如学カレッジ」

さまざまな学びに対して意欲ある職員を後押しするとともに、専門性の高いスキルを習得する場として、2021年3月に企業内大学「あきぎん如学カレッジ」を開学しています。2023年度は、4コース「コンサルティング/知的財産経営/FP実践/DX支援基礎」に68名が受講し、年間を通じて日常業務や行内研修では習得し難い学びを体系的に習得しています。



企業内大学「あきぎん如学カレッジ」の開学式

■DX・IT人材の採用

地域や行内のDX推進をより強化するため、2024年度の新卒採用からDX関連部署でキャリアをスタートできる新たな採用コース「DX/IT人材コース」を新設しています。

「DX/IT人材コース」主な職務内容
○ デジタル業務に関する業務全般
・ データサイエンティスト
・ ビジネスデザイナー
・ エンジニア・アーキテクト
○ システムの保守・管理・マネジメント など

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) の実現に向けた取組み

■「DE&Iの基本的な考え方」を制定

当行は、公平な活躍の機会のもと、職員一人ひとりが自分らしい働き方やキャリアを実現し、多様な人材がそれぞれの力を最大限発揮できる組織づくりを目指しています。こうした取組みを推進するため、2023年5月に「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I) の基本的な考え方」を制定しました。

DE&Iの基本的な考え方
<b>1 職員がいきいきと活躍できる職場づくり</b> 一人ひとりが誇りや働きがいを持ちながら、互いを認め、成長し合い、公平な機会のもと、いきいきと活躍できる職場環境をつくることにより、組織の活性化をはかります。
<b>2 ワークライフバランスの推進</b> 仕事とプライベート双方の充実や地域の活動等を大切に、心身ともに健康な生活を送ることができる職場環境を整え、職員のエンゲージメントを高めます。
<b>3 企業価値の向上</b> 職員のような視点、知識、価値観を受け入れ、新たな価値や発想を創造し、多様化するお客様のニーズを的確に捉えてお応えすることにより、企業価値を向上させて地域社会の発展に貢献します。

■女性活躍を後押しする取組み

当行では、女性職員に向けたキャリア形成支援やワークライフバランスの推進により、女性が働き続けやすい環境を整え、女性職員の活躍を後押ししています。2023年度は、所属部署以外の女性職員との意見交換やコミュニケーション機会を提供するワークショップ「Chatomo (チャットモ)」の開催や、女性職員のキャリア自律意識およびリーダーシップの醸成を目的とする「キャリア&リーダーシップ研修会」を実施しました。



ワークショップ「Chatomo (チャットモ)」

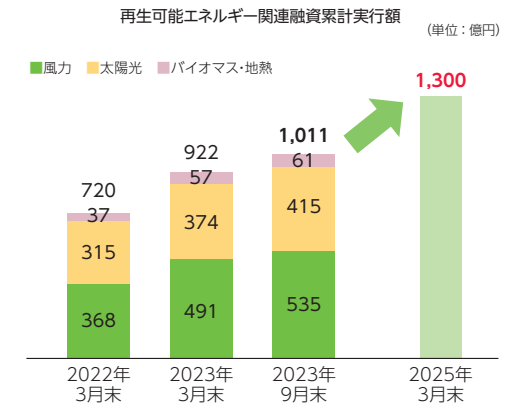
秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針

当行グループでは、地域の持続的な成長の実現および当行グループの企業価値向上に向けた取組みをより一層推進するため、「秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針」を制定しています。

秋田銀行グループは、「地域共栄」の経営理念のもと、地域課題の解決および環境課題への対応、お客様のニーズに応える質の高い金融・非金融サービスの提供を通じて、将来にわたる豊かな地域を実現するとともに、当行グループの持続的な成長・企業価値向上を実現し、地域から必要とされる金融グループになることを目指します。

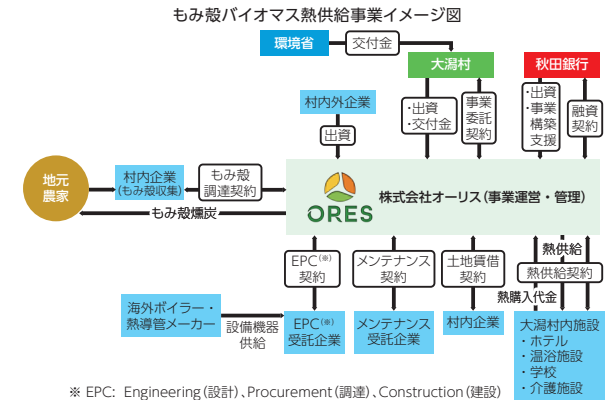
再生可能エネルギー分野への取組み

脱炭素社会への移行にあわせて、世界各地で再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取組みが進められています。こうしたなか、秋田県は良好な風況をはじめ、グリーン資源が豊富に存在し、陸上・洋上風力発電など再生可能エネルギーにおける新たな電源地としての存在感を高めています。当行では、再生可能エネルギーの普及を新たなビジネスチャンスとして捉え、同エネルギー向けの融資累計実行額を2024年度までに1,300億円とする目標を掲げて積極的に推進しています。



脱炭素先行地域への支援

大潟村は、国による脱炭素先行地域 (第1回) に採択された地方自治体で、太陽光発電による村内民生部門への電力供給や未利用もみ殻を活用したバイオマス熱供給事業等により、村内の脱炭素化を推し進めています。当行では、人的支援のほか、2022年7月に同村内に設立された地域のエネルギー事業を主導する「株式会社オーリス」への出資や同社への事業構築支援など、地域の脱炭素化の実現に向けて継続的な支援を行っています。2023年6月には、同社が手掛けるもみ殻バイオマス熱供給事業に対して融資を実行しました。



# 財務ハイライト

## 収益の状況

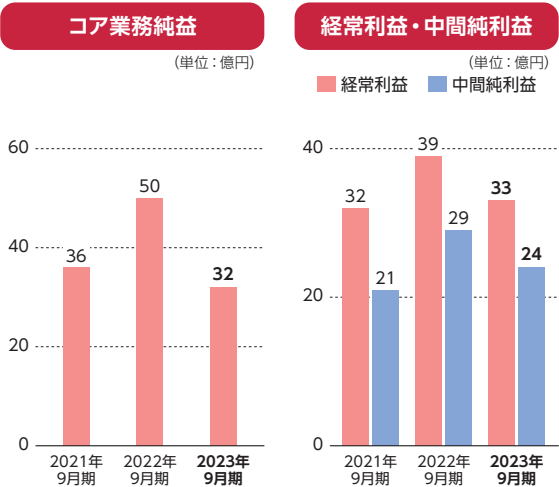
コア業務純益<sup>(※)</sup>は、有価証券利息の減少による資金利益の減少により、前年同期比18億円減少の**32億円**となりました。

経常利益は、国債等債券売却損・償還損の減少により国債等債券損益は好転したものの、株式等売却益の減少による株式等関係損益の悪化とコア業務純益の減少により6億円減少の**33億円**となり、中間純利益は5億円減少の**24億円**となりました。

用語解説

※「コア業務純益」

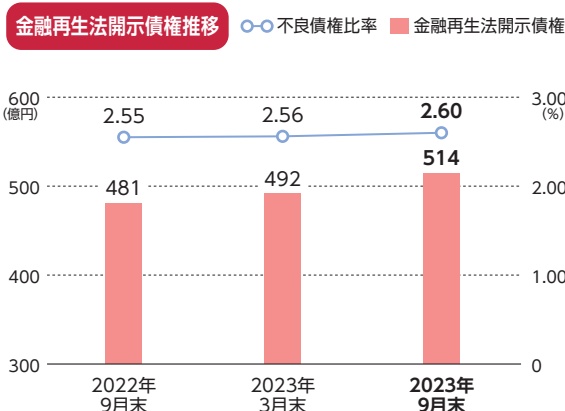
銀行本来の業務(預金、貸出、為替、有価証券など)から得られた利益である「業務純益」から、期ごとに特殊な要因で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたもので、「銀行の基本的な利益」を示します。



## 不良債権の状況

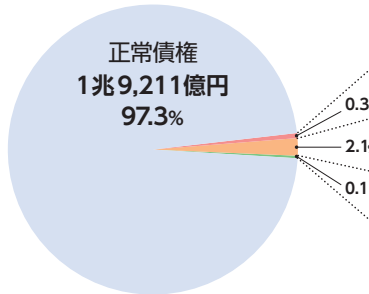
2023年9月末の不良債権(金融再生法開示債権ベース)は、前期末比22億円増加し、**514億円**となりました。

この不良債権が将来回収不能となった場合の備えである保全額(貸倒引当金、担保・保証)は437億円、保全率は85.01%と高く、貸出等資産の健全性維持に努めております。



## 金融再生法開示債権の状況

(2023年9月末現在)



金融再生法開示債権に対する保全の状況

区分	残高 (A)	保全 (B) + (C) = (D)		保全率 (%)
		担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 <sup>(※1)</sup>	79	26	53	100.00
危険債権 <sup>(※2)</sup>	415	317	39	85.81
要管理債権 <sup>(※3)</sup>	21	1	1	11.25
合計	514	344	93	85.01

(注) 1 単位未満四捨五入  
2 保全率 = (D) ÷ (A) × 100

用語解説

※1 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

※2 「危険債権」

お取引先の財政状態および経営成績が悪化し、契約にしがった債権の元本回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

※3 「要管理債権」

三月以上延滞債権および貸出条件緩和債権(金利の減免や利息支払い、元本の返済を猶予した貸出金など)です。

## 自己資本比率<sup>(※)</sup>の状況

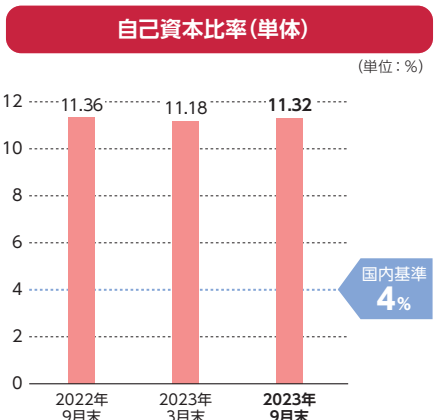
2023年9月末の自己資本比率は、分母であるリスク・アセットが貸出金の増加により増加したものの、分子である自己資本も利益の積上げにより増加しました。これにより、前期末比0.14ポイント上昇し**11.32%**となりました。

引き続き国内基準行に求められる4%を大きく上回る水準を維持しております。

用語解説

※「自己資本比率」

貸出金などの資産(リスク・アセット)に対する自己資本の割合で、銀行の健全性を示す指標のひとつです。海外に営業拠点を有する銀行は国際統一基準で8%以上、海外に営業拠点を持たない銀行(当行)は国内基準で4%以上を維持することが求められています。

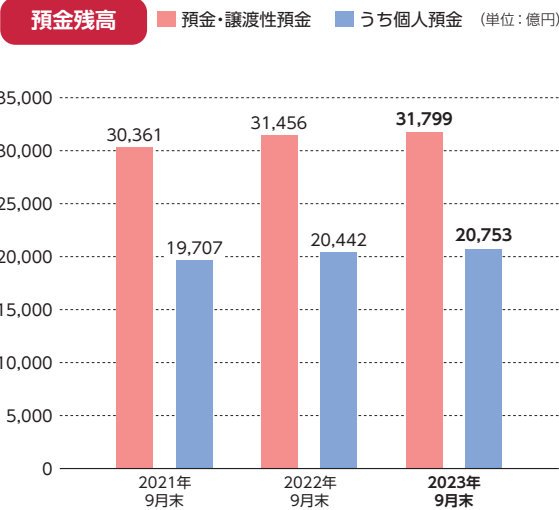
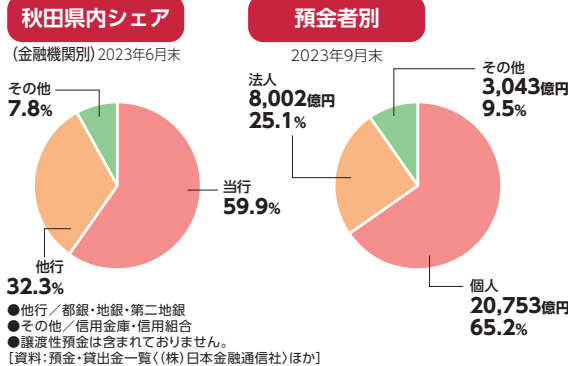




# 財務ハイライト

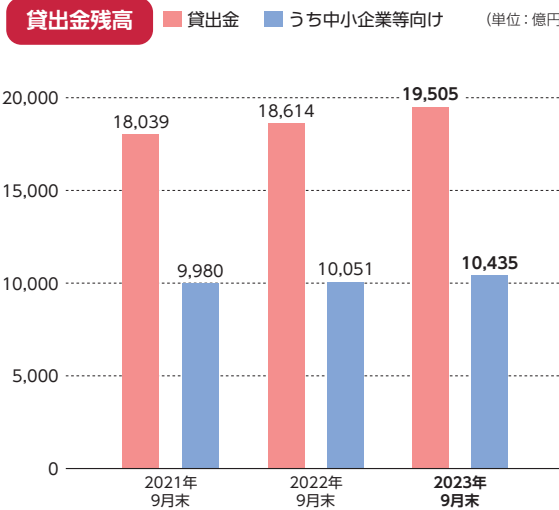
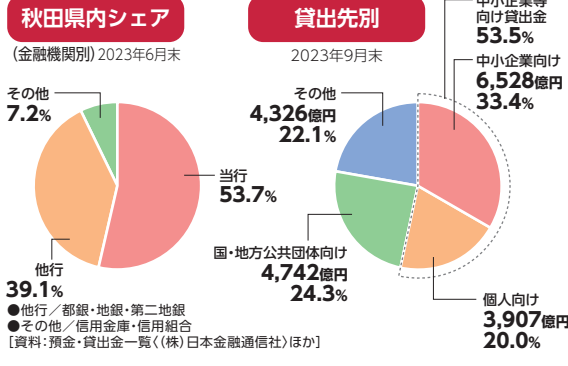
## 預金の状況

個人預金および法人預金が増加したことにより、前年同期末比343億円増加し、**3兆1,799億円**となりました。



## 貸出金の状況

事業先向け貸出および国・地公体向け貸出が増加したことにより、前年同期末比891億円増加し、**1兆9,505億円**となりました。

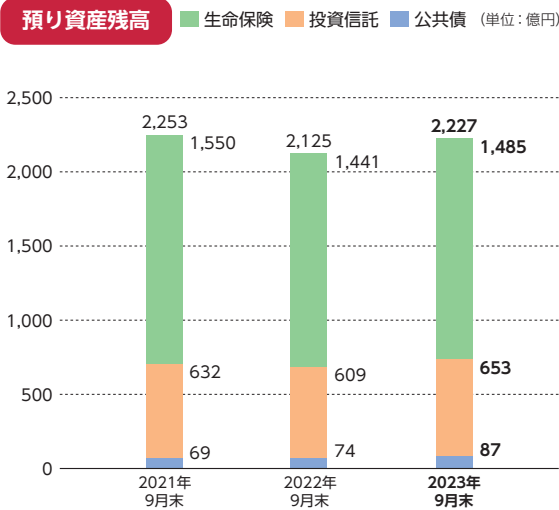


## 預り資産(\*)の状況

預り資産は、前年同期末比102億円増加し、**2,227億円**となりました。

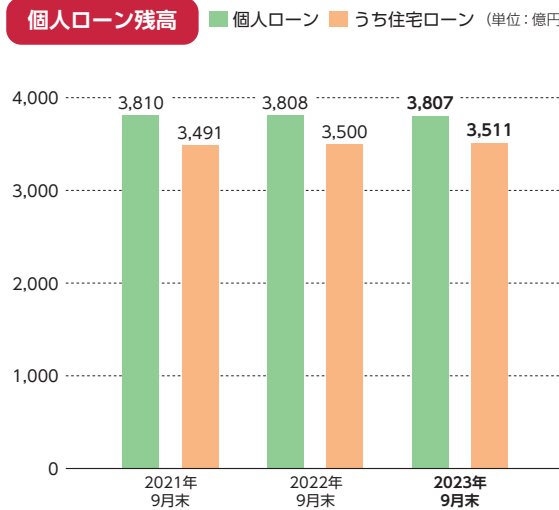
**用語解説**

※「預り資産」  
公共債、投資信託、生命保険など金融商品を総称して「預り資産」と呼んでおります。また、個人年金保険、一時払終身保険を総称して「生命保険」と呼んでおります。



## 個人ローンの状況

個人ローンは、住宅ローンは増加したものの、その他ローンが減少したことから、前年同期末比1億円減少し、**3,807億円**となりました。



## 株式の状況

2023年9月30日現在

### ● 株式数・株主数

株式数 ●発行可能株式総数 68,745千株  
●発行済株式数 18,093千株  
株主数 11,176名

### ● 株式の分布状況 [所有者別]

その他 1,613千株 8.9%



### ● 大株主

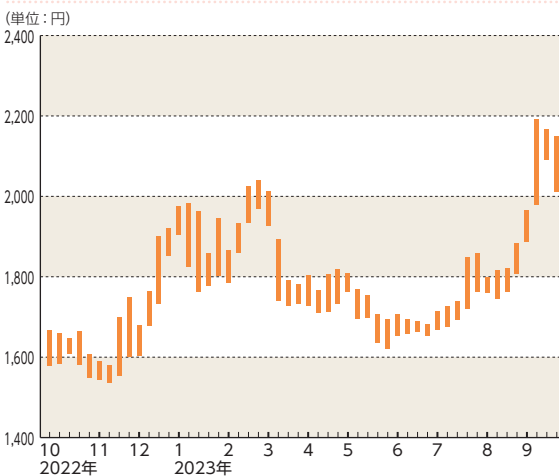
その他法人(証券含) 3,648千株 20.1%

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,644,500株	9.16%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	987,900	5.50%
明治安田生命保険相互会社	804,600	4.48%
秋田銀行職員持株会	765,812	4.26%
日本生命保険相互会社	437,594	2.43%
住友生命保険相互会社	344,700	1.92%
損害保険ジャパン株式会社	344,200	1.91%
三井住友海上火災保険株式会社	211,500	1.17%
朝日生命保険相互会社	174,800	0.97%
東京海上日動火災保険株式会社	174,266	0.97%

(注)持株比率は自己株式(144,602株)を控除して算出してあり、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 株価の推移

週単位での値幅



## 株式のご案内

2023年9月30日現在

### ● 事業年度

毎年4月1日～3月31日

### ● 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

### ● 剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は3月31日、中間配当の基準日は9月30日といたします。

### ● 基準日

定時株主総会については毎年3月31日を基準日といたします。その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。

### ● 単元株式数

100株

### ● 公告方法

電子公告とします。  
(掲載アドレス <https://www.akita-bank.co.jp/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、秋田市において発行する秋田魁新報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

### ● 上場証券取引所

東京証券取引所プライム市場

### ● 株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

#### 【同連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
Tel. 0120-232-711 (通話料無料、平日9時～17時)

### ● 特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

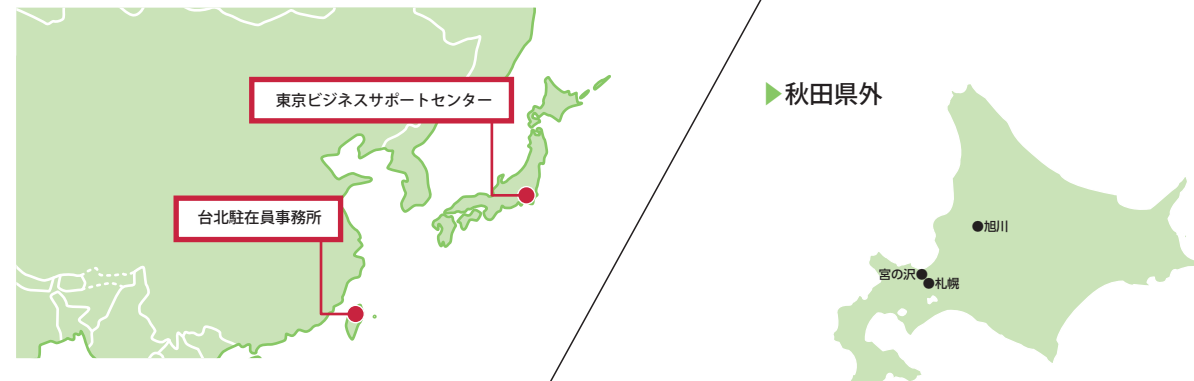
#### 【同連絡先】

日本証券代行株式会社 代理人部  
〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
Tel. 0120-707-843 (通話料無料、平日9時～17時)

#### (ご注意)

- 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行株式会社が特別口座の口座管理機関となっておりますので、日本証券代行株式会社にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 過年度の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

秋田県内外、首都圏(東京ビジネスサポートセンター)および台北(台北駐在員事務所)をつなぐ当行ネットワークにより、お客さまの新たなビジネス機会の創出をサポートします。



### 秋田県内

**秋田市内 30か店**

- 八森 ● 藤里 ● 小坂 ● 毛馬内・大湯
- 能代 ● 能代南 ● 二ツ井 ● 大館 ● 大館駅前 ● 大館西・田代 ● 花輪
- 鹿渡 ● 大湯 ● 比内
- 船越 ● 五城目 ● 田沢湖 ● 角館 ● 長野
- 男鹿・北浦(出) ● 天王 ● 大久保 ● 湯沢 ● 刈和野・協和 ● 大曲・角間川 ● 大曲駅前・神宮寺
- 本荘・岩城町 ● 本荘東 ● 美郷
- 矢島 ● 横手・浅舞 ● 横手条里
- 象洞・金浦・仁賀保 ● 十文字・増田
- 湯沢・西馬音内・稲川 ●

### 秋田県外

**店舗数 98か店**  
(2023年10月31日現在)

秋田県 …… 80か店

秋田県外 …… 17か店

- 北海道 …… 3か店
- 青森県 …… 3か店
- 岩手県 …… 1か店
- 宮城県 …… 3か店
- 福島県 …… 5か店
- 新潟県 …… 1か店
- 東京都 …… 1か店
- インターネット …… 1か店

※インターネット支店および  
branchインプラン方式  
(1つの店舗で複数の支店が  
営業を行う方式)による本支  
店・出張所を除くと、店舗の  
拠点数は79か所となります。

**<あきぎん> ローンプラザ/保険プラザ**

秋田県内のローンプラザ/保険プラザ7か所で  
各種ローン・保険のご相談を承っています。

- 本店(本店営業部1階)
- 大曲(大曲支店内)
- 東中央(秋田東中央支店内)
- 横手(横手条里支店内)
- 能代(能代南支店内)
- 本荘(本荘東支店内)
- 大館(大館西支店内)



# 2023

AKITA BANK  
REPORT

## 秋田銀行

2023年11月発行 / 株式会社秋田銀行経営企画部広報室  
〒010-8655 秋田市山王三丁目2番1号 TEL018-863-1212

(e-mail) [koho@akita-bank.co.jp](mailto:koho@akita-bank.co.jp)

(URL) <https://www.akita-bank.co.jp/>

秋田銀行 公式SNS

LINE



Facebook

